



会社概要

商 号 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

業 務 内 容 ベンチャーキャピタル(VC)業務、 コワーキング施設運営業務 など

本 社 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659

烏丸中央ビル

電 話 番 号 075-257-2511

設立年月日 1998年9月11日

資 本 金 1,500百万円(発行済株式総数 8,902,600株)

従業員数39名

決 算 期 3月

株式上場市場 東京証券取引所 JASDAQ市場 (証券コード8462)

岩手事務所

京都本社

東京事務所

愛媛事務所

役員一覧



代表取締役社長 松本 直人

1980年3月生 大阪府出身 神戸大学卒業 FVCの投資姿勢である、「どうすれば投資できるかを考える」を実践し、これまで50社以上のベンチャー企業に投資。

自治体ファンドやCVCファンド、創業ファンドに強みを持ち、リードインベスターとしてのハンズオン支援の実績あり。ファンド組成から投資、EXIT、ファンドクローズといったVC業務全般を経験。

取締役 塩本 洋千

取締役 藤野 宙志(非常勤)

社外取締役 小川 忠久(非常勤)

社外取締役監査等委員 小尾 一介(非常勤)

社外取締役監査等委員 宮田 秀典(非常勤)

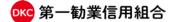
社外取締役監査等委員 北條 明宏(非常勤)

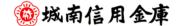
地方創生ファンド、地域ベンチャーファンド運用実績



もりおか起業F













€京都信用金庫

③ 京都中央信用金庫









石川ベンチャー育成F

あおもりクリエイトF

あきた創業サポートF いわてベンチャー育成F 秋田元気創生F いわてベンチャー育成2号F

いちばんに、あなたのこと。 🍠 豊和銀行

地方創生 ファンド

29*

地域 ベンチャー ファンド

滋賀ベンチャー育成F びわこ・みらい活性化F 神戸ベンチャー育成F こうべしんきん地域再興F こうべしんきんステップアップF

トマト創業支援F

京都市スタートアップ支援ト イノベーションCファンド

えひめベンチャ えひめベンチャーF2013 えひめ地域活性化F

> さかいベンチャー育成F おおさか創業F おおさか社会課題解決F

つくばベンチャー企業育成F

かんしん未来F かんしん未来2号F 信用組合共同農業未来F

磐城国地域振興F

ふくしま夢の懸け橋F

しずおかベンチャー育成F

みえ新産業創造F みえ新産業創造第2号F

チャレンジ山形地域振興F

やまとベンチャー企業育成F

- ※太字は地方創生ファンドです。
- ※過去の実績も含まれます。

CVC/地方創生ファンド(東京事務所)



	ロボットものづくり スタートアップ	かんしん未来	しらうめ	東日本銀行地域企業活性化	
主要LP	● 蟹 菊 池 製 作 所 MEIKO SMBC SMBCベンチャーキャピタル	全国信用協同組合連合会	◎ 城南信用金庫	東日本銀行 👫 CONCORDIA	
主領域	ロボティクス ハードウェア	IT・サービス 全般	IT・サービス 全般	IT・サービス 全般	
主要LP	ウィルグループ HRテック	ブリッジ	フェニックス FUJI/ NI	イノベーション創出	あなぶき スタートアップ
主領域	WILL GROUP	 新素材、センシング エネルギー	新素材	AWA 新素材、モビリティ ロボティクス	 不動産、ヘルスケア、

自己紹介



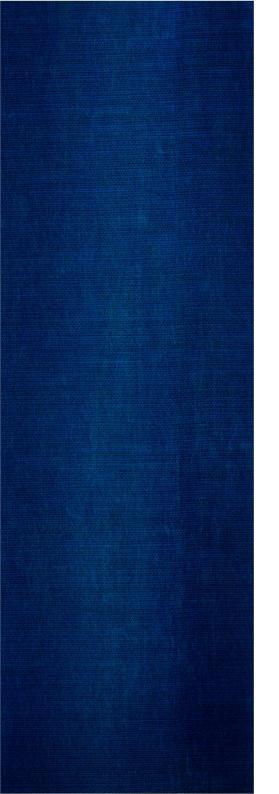


投資本部長 シニアインベストメントオフィサー 藤記 敬久

富山高等学校卒、東京都立大学経済学部卒。 2008年に当社入社。入社後、一貫して投資業務を担当。 現上場企業5社とのCVCファンド投資責任者及びスタートアップファンド投資責任者。 J-Startup推薦委員。

主要投資先:

KIYOラーニング(マザーズ)、世界市場、イノフィス、FLOSFIA、 i-plug他





投資先のご紹介(農業関連)





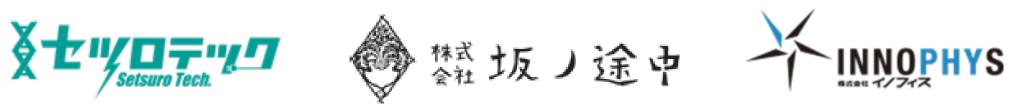




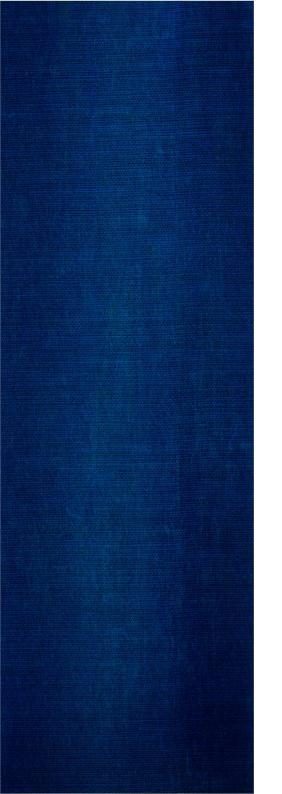














輸出関連ベンチャーへの出資について

課題



- ・各国に規制、ニーズ等異なり、審査が困難で、投資後も支援が容易でない
- ・天候等のリスクがあり、リスクヘッジが容易でない
- ・設備投資が必要で、一定の投資金額が必要
- ・他のベンチャー投資案件に比べ、成長するまで時間が掛かる
- ・生産者への補助金は有るが、輸出事業者への補助金は限定的? etc

→ 民間VCが出資するにはハードルが他業態と比較して高い

今後(世界市場の事例を踏まえて)



- ・創業期から世界市場は、㈱農業総合研究所(農総研)、クールジャパン機構等の 支援があり、また優秀な経営陣が事業運営したことから、民間VCが出資するまでに 時間を要したが、一定の事業検証がなされていた
- ・現在も農総研が強力な支援を継続し、複数の民間VCも出資・支援を開始
- ・民間事業者の輸送技術やシステム、また補助金を活用し、新たな輸出システムを模索し、効率化が向上しつつある
- →官民の資金/事業支援により、一定の成果が生まれているケースと言えるのでは?
- ⇒更なる事業成長には、スピーディーな意思決定の中から大きな資金投下も必要。